

ニセヨゴレイタチシダ

Dryopteris hadanoi

オシダ科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 II

シダ
植物



中国・四国地方の一部と九州地方にまれに分布する常緑性シダ植物。この種は、イタチシダの仲間で、ソーラス（胞子のう群）をおおう包膜が早く落ちること、葉柄に密生する鱗片りんぺんが明るい褐色であることなどの特徴をもつ。別府湾沿岸域から宮崎県にかけての沿海地には多くの生育地があり、シイ・カシ類などの常緑樹の林床に生える。生育地の多くが人類文化地やその周辺部であるため、土地開発や森林伐採などの影響を受けやすく、生育地や個体数の減少が懸念される。

（写真・文：辻 寛文）

県内分布 別府湾沿岸域，大分川・大野川丘陵域，豊後水道域，豊後水道後背地域，北川上流域

分布域 本州（山口），四国（高知），九州（長崎・大分・宮崎・鹿児島）